

附属資料2. 事業者選定基準

信州大学松本キャンパス駐車場整備等事業

事業者選定基準

令和3年9月

国立大学法人 信州大学

目次

1. 総則	1
2. 事業者選定までの流れ	2
3. 資格審査	3
(1) 入札参加者の構成等	3
(2) 入札参加者の参加要件	3
4. 提案内容審査	3
(1) 入札価格の確認	3
(2) 基礎審査の評価項目	3
(3) 定量的審査の評価項目	3
(4) 評価項目の採点方法	6
(5) 最優秀提案の選定	7
(6) 審査委員会	7
5. 事業者の選定	7

1. 総則

この事業者選定基準（以下「本基準」という。）は、国立大学法人信州大学（以下「本学」という。）が「信州大学松本キャンパス駐車場整備等事業」（以下「本事業」という。）を実施する事業者を選定するに当たり、「信州大学松本キャンパス駐車場整備等事業審査委員会」（7ページで定義する。以下「審査委員会」という。）において最も優れた提案者を選定するための方法、評価基準等を定めるものである。また、本基準は本事業に参加しようとする者に交付する入札説明書と一体のものである。

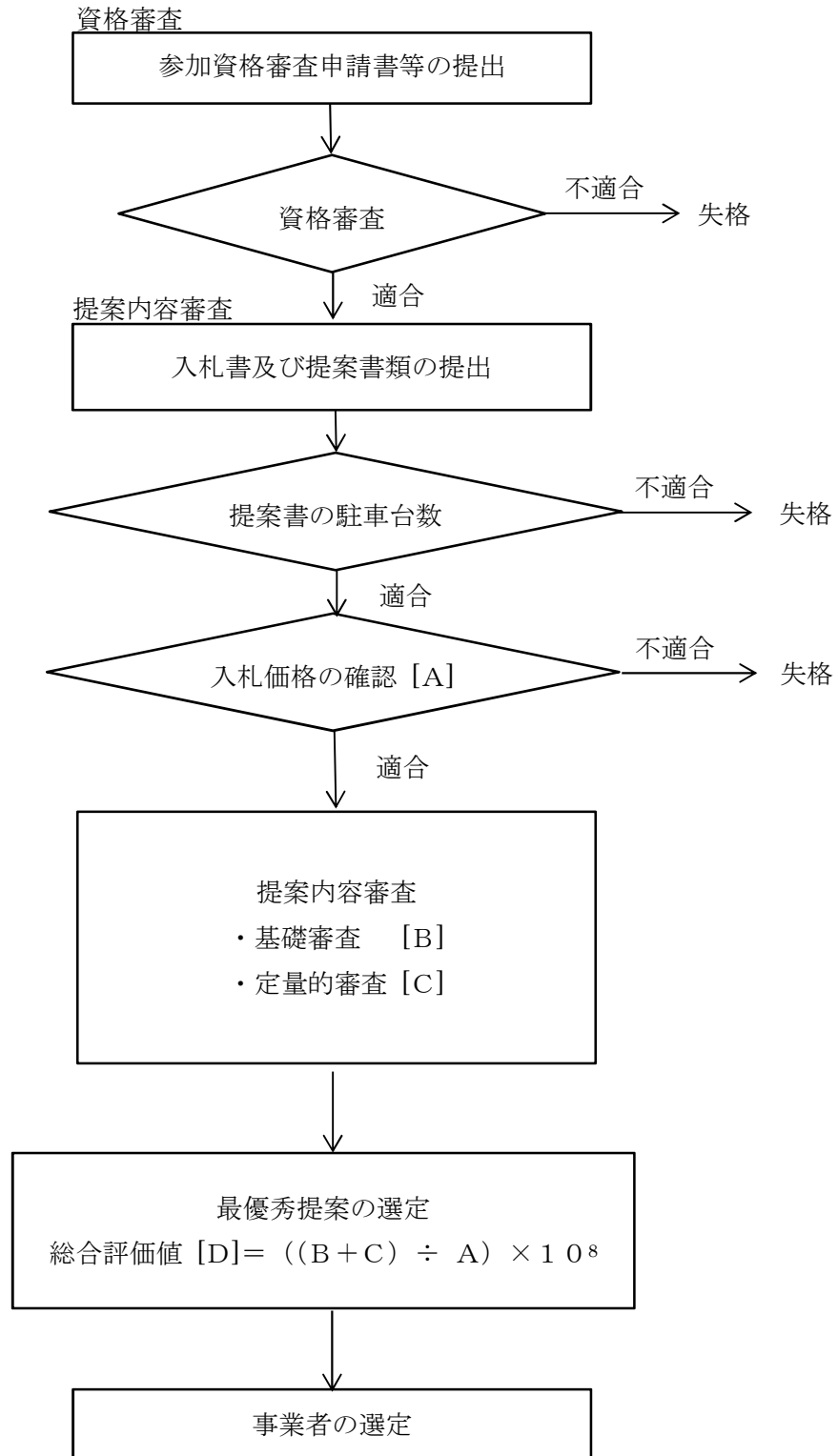
本事業は、設計・建設段階から維持管理・運営段階の各業務を通じて、民間事業者に効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供を求めるものであり、民間事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価して選定することが必要であることから、事業者の選定に当たっては、事業運営能力、建設・維持管理・運営能力等その他の条件及び入札価格による総合評価一般競争入札方式により選定を行う。

なお、本基準で使用する用語の定義は、同一の名称によって入札説明書において使用される用語と同一のものである。

2. 事業者選定までの流れ

事業者の選定は、資格審査と提案内容審査により行う。

本学は、審査委員会による審査結果を踏まえ、事業者の選定を行う。



3. 資格審査

資格審査では、入札参加者からの参加資格審査申請書等をもとに、参加資格要件等の具備を本学において確認する。参加資格が確認できない場合は失格とする。

入札参加企業又は入札参加グループの構成員及び協力会社は以下の資格要件を満たしていること。

(1) 入札参加者の構成等

- ① 代表企業、構成員、協力会社が明確になっていること。
- ② 設計、建設、維持管理及び運営の各業務に当たる者が明確になっていること。
- ③ 工事監理業務に当たる者が建設業務に当たるものと同一でないこと。
また、資本面若しくは人事面で関連がある者でないこと。

(2) 入札参加者の参加要件

入札参加企業、入札参加グループの構成員又は協力会社のいずれも、入札説明書4.「入札参加者の備えるべき参加資格」を満たすこと。

4. 提案内容審査

(1) 駐車台数の確認

駐車台数については、下表に示された駐車台数以上であるか確認する。駐車台数が所定の駐車台数未満であれば不適合とし失格とする。

(2) 入札価格の確認

入札においては、入札参加者が入札書に記載した入札価格（事業期間を通じて本学が支払う対価の総額）が、本学の設定する予定価格の制限の範囲内にあることを確認する。入札価格が予定価格の範囲外であれば失格とする。

(3) 基礎審査の評価項目

入札参加者から提出された書類が全て揃っていることを確認する。書類が全て揃っていない場合は失格とする。

基礎審査項目を充足した提案については、基礎点として 100 点を付与する。

(4) 定量的審査の評価項目

定量的審査では、審査委員会において、基礎審査を通過した入札参加者の提案内容の事業計画、施設整備計画、維持管理計画及び運営計画について、下表に示す各評価項目について評価、採点する。

表 評価項目及び評価基準

評価項目		評価基準	様式	配点
事業計画	事業の遂行 リスク対策	①事業スケジュール ②想定されるリスク ③本学と事業者の役割・リスク分担 の考え方 ④リスクの管理方法 ⑤リスクが発生した際の対処方法等 ⑥リスクに備えた適切な保険等の付保	16 17	5
	小計			5
施設整備計画	施設計画	①基本コンセプト ②施設の配置計画及び建築計画 ③動線計画 立体駐車場と既存平面駐車場の境界部分におけるスムーズな入出庫を配慮した計画等 ④日影図	19	6
	デザイン性	①本学敷地外の他施設等との調和 ②本学敷地内の他施設等との調和 ③デザイン性（色彩、使用材料等）	20	3
	環境保全性	①周辺環境への配慮（日照、騒音、振動、排ガス、光害対策等） ②リサイクル材、自然材料、再生可能材の積極利用 ③地球温暖化防止に対する取組 ④次世代自動車への対応	21	5
	安全性	①利用者の安全性向上 ②防犯性の確保 ③防災対策	22	5
	機能性・快適性	①案内、誘導、サイン計画 ②駐車ます及び車路のレイアウト ③利用者の快適な利用への配慮	23	6
	経済性	①ライフサイクルコスト、耐用年数 ②建築材料、設備機器等の耐久性 ③建築材料、設備機器等のメンテナ	24	5

		ンス及び更新の容易性、保全性		
	施工計画	①工期短縮の工夫（施工計画、工法） ③工事中の安全管理、周辺環境への配慮（粉塵、騒音、振動対策等） ③施工品質保証の具体的な方法（ISO取得等）	25	3
	小計			33
維持管理計画	保守管理業務（建築・設備）	①保守管理業務実施体制	37	3
	外構維持管理・除雪・凍結防止	①実施体制 ②業務への考え方	38	3
	長期修繕計画	①耐用年数と長期修繕計画の考え方 ②設備機器更新計画 ③事業終了後の引継等	39	5
	小計			11
運営計画	駐車整理・利用者対応	①業務実施体制 ②円滑な駐車整理の考え方や取組 立体駐車場と既存平面駐車場の境界部分における利用者安全及びスムーズな移動への配慮等 ③苦情への対応	41	3
	安全管理	①歩行者及び自動車の事故防止対策 ②マナー違反對策 ③犯罪に対する保安防犯対策、監視方法 ④目的外使用に対する対策 ⑤緊急時及び非常時の対応、バックアップ体制 ⑥無人運営を行う場合の方法と内容	42	3
	小計			6
資金調達・収支計画	資金調達	①資金調達方法の適切性（コーポレートファイナンス・プロジェクトファイナンス／出資・借入等） ②資金調達条件（金利等）の妥当性 ③資金調達の確実性	44 45	5

	事業収支計画	①事業収支計画の考え方 ②支出（費用）の前提条件の妥当性	46 47 48	5
	事業の安定化	①返済計画の現実性と余裕（DSCR、LLCR） ②事業者の支出が予測を下回った場合の運営の考え方	49	5
	リスクへの対応	①予測支出を上回った場合の運営の考え方 ②事業破綻回避の考え方	50	5
	小計			20
その他	その他特筆すべき事項		52	5
	立体駐車場と既存平面駐車場の駐車台数による加点 (820台 < 1台あたり0.2点加点 ≤ 920台) ※軽自動車の駐車ますの制限は要求水準書にて確認のこと			20
	立体駐車場と既存平面駐車場の駐車台数が820台未満			失格
	小計			25
合計				100

(4) 評価項目の採点方法

定量的審査では、各評価項目において、次に示す5段階により評価、採点する。

表3 評価項目の採点方法【具体的にすべき】

評価	評価内容	採点基準
A	特筆した優れた提案がある	配点×1.0
B	要求水準以上の優れた提案がある	配点×0.7
C	要求水準を満たしている	配点×0.4
D	要求水準をある程度満たしている	配点×0.2
E	要求水準を満たしていない	配点×0.0

提案内容審査においては、主に前頁の表の評価基準に示す視点から効率的・効果的かつ実効性のある提案と認められた場合、加点評価を行う。なお、評価基準に示す視点に直接該当しない場合においても、本事業の実施において、効率的・効果的かつ実効性のある提案と認められるものは、加点評価の対象となり得る。

(5) 最優秀提案の選定

審査委員会は、入札参加者の提案内容に対して定量的審査により評価項目毎に得点化し、得点の合計を入札価格で除した値（総合評価値）を算出し、総合評価値が最も高い提案を最優秀提案として選定する。

(6) 審査委員会

事業者の選定において、公正性及び透明性を確保することを目的に、有識者、大学職員等で構成される審査委員会を設置する。審査委員は以下のとおり。なお、諸事情により異動や退職した場合は後任の者が引き継ぐものとする。

	氏名	所属等
委員長	小宮山 啓太郎	信州大学 理事（財務・環境施設担当）
	池田 幸雄	山梨大学 施設・環境部長
	成田 憲隆	信州大学 財務部長
	三澤 剛	信州大学 医学部附属病院 副病院長
	大江 信浩	信州大学 環境施設部長

5. 事業者の選定

本学は、審査委員会による審査結果を踏まえ、最優秀提案を行った者を事業者として選定する。なお、総合評価値が最も高い提案が同点で複数あり、最優秀提案が複数選定された場合には、くじ引きにより事業者を選定する。